

自己実現 2023

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

[2022年の総仕上げ]

75回生のみなさんにとっての勝負がいよいよ始まります。「受験生」という境遇は決して楽しいものではありません。それを楽しむだけの余裕があればいいのですが、たいていは心の中にふつふつと湧いてくる不安に打ち勝つために、悪戦苦闘していると思います。しかし、不安を感じない受験生はいません。不安と共存し、自分だけではなく誰もが感じていることだと達観できる受験生が合格に近づくのです。不安に押しつぶされた挙げ句の出願は、色々な意味で良い結果をもたらすことはありません。今こそみなさんの強い信念と「第一志望」への熱い思いが必要です。そして「覚悟」を決めて大学入学共通テストに向かいましょう。こまめな手洗い、十分な睡眠・食事を取り、日頃の体調管理・感染予防にも気を配りましょう。共通テストの『受験上の注意』にも、試験日の1週間程度前から体温測定を行うなど、心がけるべきことが記載されていますので、よく読んでおきましょう。神戸高校での生活も残りわずかとなりました。みなさんを応援している家族や先輩・後輩に感謝の念を抱きながら、何よりも自分のために、残された高校生活に全力を尽くしてください。今回の結果に一喜一憂することなく、補うべき部分を今一度確認しましょう。本番でさらに飛躍できることを願っています。

[大学入学共通テスト直前・各教科(科目)別アドバイス]

今回は、本番に向けてのアドバイスを各教科(科目)の先生方からいただきました。よく読んで、頭と心の準備をしておきましょう。

<国語>

残された時間の取り組み次第で効果を上げることができるのは、古典分野。特に漢文の「句法」の最終確認を。古文は単語力の強化と、「敬語法」や「識別に必要な基本文法」。

並行して、これまで通り毎日演習を続ける。本文中に明確な解答の根拠を持って解答を考えることが大切。センター試験形式の問題を解く勘を鈍らせないように。演習したら、手持ちのテキストに返って必ず復習。知識の刷り込みを！

【当日の心得】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 時間配分に注意せよ！ | ② リード文と注は大ヒント！ |
| ③ 読みながら書き込め！ | ④ 設問の意図を正確に把握せよ！ |
| ⑤ 語句・文法の力で確実に得点せよ！ | ⑥ 長い選択肢は攻略ポイントを絞れ！ |
| ⑦ 自分の読み取りを信じろ！ | ⑧ 迷ってもとりあえずマークせよ！ |

<数学>

◇試験までにできること…

●感覚をにぶらせないように準備する。

可能な限りすべての分野の問題を解くことによって、知識の確認をしましょう。自分の知識をまとめたノートや苦手な分野の公式を覚えるためのノートなどを作ってもよいと思います。

●定義・用語や公式を確認し、確実にモノにしておく。

頻出の定義や公式は確実に覚えるようにしましょう。演習の中で曖昧な覚え方をしているものは、チェックして確実なものにしていきましょう。共通テストは時間との勝負です。安易に「公式は導けばいい」などと考えず、導き方も含めてしっかりと理解して身につけておくこと。当日に公式を導く時間があるのならば他にやることはあるはずですよ。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

◇試験当日…

●科目選択を間違えないこと。

「数学Ⅰ・A」と「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ・B」と「数学Ⅱ」の科目選択を間違えないこと。試験当日は改めて、冊子の注意事項をちゃんと読みましょう。ミスをする受験生が毎年必ずいるという事実をちゃんと受け止め、自分は大丈夫とは思わないで、細心の注意を払って試験を始めて下さい。何事も最初の一步が大切です。慎重に正確にスタートを切ろう！！

●「文章の飛ばし読み」や「思い込み」に注意する。

共通テスト特有のある程度の文章量を読ませる出題がされることが予想されます。今まで以上に限られた時間で多くの問題を解かなければいけません。そのため、ついつい急いで読もうとしてしまいます。そうすると飛ばし読みをして大事な部分を見落としてしまったり思い込みで問題を解いてしまったりしてしまいます。落ちついて、少し丁寧に文章を読むぐらいの気持ちが必要です。

●ある設問がわからないからといって、そのあとの設問を安易にあきらめてはいけない。

つながりのある問題があったり、単独の問題があったり、解けない問題があっても、それ以降の問題をすべて解かないのではなく、解ける問題がないかを探しながら文章を読み進めましょう。あとにヒントが隠されていることもあります。何事もあきらめないことが大切です。ひとつの問題に時間をかけすぎないこと。「この問題のタ・チ・ツ・テ・トより次の問題のア・イ・ウ・エ・オ」

●問題用紙の余白の使い方を計画的にする。

図は見やすい大ききさで書き、計算も可能な限り丁寧に整然と書くようにしましょう。これらをわかりやすく残しておくことは、確認時間を減らすことになり、さらにミスを防ぐことにもつながる。

■『数学ⅠA』のポイント：試験時間が70分で数ⅡBより10分長いが情報量が多いので要注意！

「データの分析」では、用語、定義、公式を確認。分散・共分散・相関係数の定義の式は大丈夫ですか。データの変換 $Z=aX+b$ としたときやデータを追加・削除した後の分散、共分散、相関係数がどのように変わるかも要復習です。「場合の数と確率」は、その問題の設定・ルールを正確に理解して順に進めることが大事です。そのルールに入り込めば解法は見えてきます。最後は、条件付き確率がよく問われます。条件の事象は何かを見極め、 $P_A(B)$ は、 $P(A \cap B) \div P(A)$ なので、この2つを落ち着いて求めれば解決します。「図形の性質」は、方べきの定理・接弦定理・角の二等分線の定理・チェバ・メネラウスの定理がよく狙われます。次々と角や長さ・比が求まり追加していく構成なので、混乱したら改めてわかった数値で図を書き直すと見えてくることがあります。「整数の性質」は、1次不定方程式の整数解が頻出なので確認し、剰余類(mod)、n進法とユークリッドの互除法も押さえておく。素数の性質や2つの数が互いに素(=最大公約数が1)の知識を使う問題をもう一度復習しておく。

■『数学ⅡB』のポイント

「三角関数」では、三角不等式と合成が頻出、ミスなくこなす、「対数」は、底の値による大小関係と底の変換公式が必須。「微積分」は、接線、増減を調べての最大・最小、面積が必須、いずれも計算力の見せ場です。「図形と方程式」や「ベクトル(空間座標)」では、図を書き俯瞰して眺め、垂直や大きさ(距離)などに着目して式を立てる。「数列」は、等差、等比、 Σ 公式、部分分数分解、階差、 $S-rS$ 、部分列(偶数項、奇数項を別々に考える)のうち、どれを使う問題かを見極めます。全体的には、行き詰まったときこそ、考えをリセットし、基本に戻って突破口を見つけ、頑張り抜いてください。

＜英語＞

共通テストのリーディングは、文章の目的がはっきりしていること、設問の形式が決まっていることなどにおいて、2次試験の読解問題とはかなり違ってきます。①どんな人が、どんな目的で書いた文章なのかをリード文とタイトルから把握する。②各設問で問われている情報を正しく把握・記憶する。③ターゲットとなる必要な情報に集中して文を読む。④正しい答えを探す解法と消去法の両方を駆使して正解を選ぶ。①～④の過程を意識して、じっくり読むべき情報とそうでない情報を選別しながら読むことで、読む速度が上がり、必ず安定的に高得点が取れるようになるはずですが、制限時間内に全問に目が通せるように、問題全体に目を通して、設定した制限時間に従って問題を解くことも重要です。数問は間違えても構わないので、時間がかかりそうな問題を深追いしすぎるのは得策ではありません。

リスニングも、これまでの演習で形式にかなり慣れてきたと思います。「どのタイミングで」問題冊子に書かれている英文に「どの程度」目を通しておくのかを再度確認しておいて下さい。(音声は2回流れる第1問～第2問は、正解が分かったら、2回目を聞く時間に第3問以降の問題にさっと目を通していくなど。)目標の点数に届いていない人は、全部聞いてから解くほうがあるのか、聞きながら解くほうがあるのかなど、いろいろな解き方に挑戦して、自分最適の解き方を見つけましょう。自分の聞き方を客観的に把握して、分析することが点数アップのカギです。

何度も演習を繰り返すことで、共通テストの問題を解くことが、「特別な経験」から、「いつものルーティーン」に変化し、当日落ち着いて受けることができるはずです。共通テストまで、毎日英文を読みましょう。そして、英語の音声聞き、耳を慣らしておきましょう。きっといい結果が得られるはずです。残りの日々を、後悔のないように過ごしてください。

＜物理＞

本番までは、今までやってきた問題集等の見直しに徹してください。各分野を出題している「大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理」を見直してみてください。「共通テスト対策直前演習(全6回)」やプレテスト、マーク模試、問題集(リードα)などで間違えた問題や教科書で疑問に思うことについて、特に、出題傾向が予想される物理現象、実験に関するグラフや図等は教科書や問題集の解答解説などをよく読んで消化しておくことが肝心です。本番では、時間配分を考えながら、解ける問題から確実に解きましょう。力学分野や不得意な問題ばかりに気をとられない(時間を使わない)ように気をつけてください。早とちりや計算ミス、マークミスには細心の注意をしてください。

＜物理基礎＞

本番までは、プレテスト、マーク模試、問題集や授業で配布したプリントなど、今までやった問題の見直しを中心に学習してください。本番では、問題文をしっかりと読み、早とちりや計算ミスに気をつけて、解ける問題から確実に解きましょう。

＜化学＞

教科書後半の無機・有機・高分子の範囲の暗記すべき物質の化学式(イオン式)・性質・反応等が頭の中で整理された状況になっているでしょうか。プレテストや直前演習(6回分)の自己採点で判明した弱点分野はすぐに補強するようにしましょう。本番直前で最も効果的に総得点UPが期待できる勉強となるはずですが、また、新しい問題に取り組むのもよいですが、これまでに解いたチェック&演習、授業プリント、模試等の間違えた設問の解き直しをして、欠けていた項目の再確認をしておきましょう。本番は、実験をからめたグラフ考察問題、思考力を要する問題が多く出てくることが予想されます。少し考えても解法の道筋が見えない問題は潔く後回しにして時間配分を間違えないようにしましょう。

＜保護者の方々にも読んでいただきましょう＞

＜ご意見・ご質問をお寄せください＞

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

<化学基礎>

プレテストや直前演習(10回分)の自己採点で判明した弱点分野はすぐに補強しましょう。また、必ず本番までに教科書中の覚えておくべき項目(化学と人間生活の分野も含む)をサラッと見直ししておきましょう。手間のかかる計算問題や思考力を要する問題が出題されることが予想されます。少し考えても解法の道筋が見えない問題は潔く後回しにして時間配分を間違えないようにしましょう。

<生物>+<生物基礎>

睡眠時間の確保と体調の管理。そして、直前にするべきは**基礎基本の確認**です。直前演習、教科書、大学入試の得点源を使って全体を確認する。試験までの時間を有効に使い**苦手な分野や計算問題**、過去に間違った問題をもう一度チェックすると安心です。最後の最後まであきらめずに努力を続けましょう。

開始直前に手のひらを自分に向けて**外科手術開始前のポーズ**で心を落ち着け、**出題者の意図を見抜きながら問題文をしっかりと読み正確な処置を冷静に行い試験に臨んでください。**

重要：問題文は最後のページまでしっかりと確認すること

<世界史>

○基本はできていると感じる人へ

漏れが出るのは文化史・現代史・マイナー地域史だと思っています。好き・得意な地域・時代を深めるのではなく、嫌い・苦手な地域・時代を補う勉強を。教科書・資料集・ノートを活用すれば十分です。

○基本がまだ怪しい人へ

高得点を取るにこしたことはありませんが、基本ができていないのに難しい問題に当たっても非効率で高得点は望めません。7割ラインは、基本(主要地域の大きな流れをとること)で十分届きます。時間をかけてでも基本の理解・インプットに努めてください。

○全員へ(全員の心に届け!)

徐々に知識の最終確認に入ると思いますが、一問一答ばかりやるのはやめてください。記憶より理解が大切です。教科書の文章や資料集の年表で流れを理解する。地図を見て、地理感覚を理解する。資料読解の練習をする(配布した直前演習問題を使い)。

そして「用意をしてください」と試験官に言われる直前まで一心不乱に勉強すること。友達と話をしたりリラックスしたいとか、そんなん無用。

<日本史>

過去問演習を行い、穴になっている知識を把握して確認する作業を行ってください。残りの期間で穴をなくし自信をつけましょう。また直前確認用のプリントを授業もしくは担任を通じて配布しました。以下のように活用してください。

- ①まず基本となる政治史は流れ、単語を見て、ちゃんとストーリーが思い浮かべられるか、単語の意味が解るかを確認してみましょう。確認した結果、特定の時代が弱いと思った場合は教科書に立ち返り要確認。また政権担当者がいつごろの世紀の人間なのかがわからないと共通テストでは特に痛い目を見ます。前近代なら古代～近世の政権担当者はいつぐらいの時代に活躍したのか(何世紀のいつごろ(前半なのか、中ごろなのか、後半なのか))を把握する(例えば新井白石は何世紀のいつごろの活躍なのかなど)、近現代なら5年10年単位(必要なら年単位)で把握する作業をしましょう(確認プリントには何世紀の出来事かなどの年代情報がありません。よって自分で調べてメモとして書き込むと覚えられると思います)。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

②テーマ史的内容がさっぱりわからなくなったら図説などを眺めて確認するのもよいです(内容的に踏み込みすぎている場合もあるので暗記ではなく理解するために使しましょう)。文化史・外交史・経済史は忘れやすいので直前まで確認が必要です(大まかな世紀や年代の把握は常に意識)。基本のところは落とすのは後悔がのこります。そうならないように基礎的な知識は常にメンテナンスを心掛けるようにしましょう。たかが三週間です、日本史は時間を無駄にせず直前まで覚え確認し続けましょう。

<地理>

当日のアドバイス

- 1 直前まで、カラー資料を見ること、地図領を見ること。短期記憶は本当に直前まで有効です。
- 2 今まで実施された2021.22の共通テストから言えることは、第1問の6問のうち～4問は解くのに時間がかかり、正答率の低い問題が多くなっています。でも第2・3問は比較的典型的な問題で簡単な問題が多くなります。第4問の外国地誌は地域によって難易度にばらつきがあり、なんとも言えません。第5問は、6問中5問は時間はかかりますが、正答率が高い安易な問題です。最初から解くのもいいですが、その際は第1問に時間を割かないでおきましょう。
- 3 自己採点はお勧めしません。地理の場合は出来ていると思っていても2日目が終わってからにしましょう。

ここからの勉強のアドバイス

- 1 学年全体としては、受験学力は十分にあります。でも小地形(これは暗記が必要)、日本地誌に若干の弱点があります。教科書、あるいはカラー資料、これだけは購入した参考書などで補強してください。
- 2 どうしても過去の共通テスト、センター問題を解くことにはなりますが、ただ解いて、「何点だった。全然伸びていない～」なんて思うのは止めましょう。そこからスタートです。その問題を解くための知識の習得に努めましょう。地図帳なり、カラー資料なり、教科書なり、参考書で確認し、しっかり自分の知識にしてください。
- 3 今までやった定期考査、実力考査の問題を再度解いて、そのときの自分の得点よりも大幅に上回っていることが重要です。共通テストの地理において90点以上とることはなかなか難しいです(年によりますが・・・)。出来る問題、出来なければならぬ問題をしっかり正解に持っていくことが最も重要です。
2年の最初に想定したこちら側(宗)の受験対策はほとんどやりました。あとはあなたがこの3週間でできることをすべてやってください。健闘を祈っています。神戸高校生はここからの3週間でビクッリするほど受験学力がつかます。

<政治経済>

政治経済はラーンズを使った演習などで穴がある分野、表・計算の読み取りができなかったところが確認できたと思います。理解できるまで解説を読みましょう。表・文章の読解力が問われる問題も多いですが、このタイプの問題は慣れが大事です。落ち着いて、論理的に読めば答えが導き出されることも多いので、演習を繰り返すことで問題に慣れていきましょう。また基本事項は覚えていなければいざいほど解答で大きく外すことがないので、当日の安心感につながります。政治分野の法や政治制度に関する基本的な内容は覚えられていれば答えられる問題なので落とすもったいないです。本番まであと少しですがしっかりと暗記しましょう。経済的分野も理屈をしっかりと理解して曖昧な理解をしないように。経済はちゃんと自分の頭で考えて理屈を理解できるようになることが大事です。政経は本番直前にのびるのでそれを信じて頑張りましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

<倫理>

キルケゴール的に、“あれもこれも”ではなく、“あれかこれか”で、自分が弱いと思う分野(「青年期」「源流思想」「日本思想」「西洋思想」「現代社会の諸課題」)を読み返そう。そして、それぞれの人物のキーワードを確認していこう。あとは、解答にあたって、選択肢を丁寧に読むこと。引っ掛けが結構多いから、問題文にあるキーワードを時間をかけて一つ一つ確認して行こう。健闘を祈っています。

[冬休み中の教室利用について]

他学年への配慮をしつつトラブルのないよう学習活動(自習)を行ってください。

- ・1/4, 5, 6, 7 時間帯 8 : 20~17 : 00 : 自習場所: 指示教室・進路資料室
- ※12/31(土)~1/3(火)は登校しないでください。

冬休み中の自習室の開館時間について

①3-8(暖房あり)	1/4(水)・5(木)・6(金)・7(土) の	8 : 20~17 : 00
②3-7(暖房なし)	1/4(水)・5(木)・6(金)・7(土) の	8 : 20~17 : 00
③進路資料室	1/4(水)・5(木)・6(金)・7(土) の	8 : 20~17 : 00

[3学期に向けての今後の予定]

- ・12/26(月): 共通テストプレテスト①(全日)
- ・12/27(火): 共通テストプレテスト②(半日)
- ※12/31(土)~1/3(火)は登校しないでください。
- ・01/10(月): 始業式
- ・01/11(火)~01/13(金): 特別時間割(午前中授業[3コマ])※01/13(金): 学年集会(3限)
- ・01/14(土)~01/15(日): **大学入学共通テスト**
- ・01/16(月): 1限 学年集会 2・3限 自己採点・解答復元作業
- ・01/17(火)~01/30(月): 特別時間割(午前中授業[3コマ])
- ・01/31(火): 大掃除・学年集会・LHR

[後記]

「備えあれば憂いなし」という諺があるように、事前の入念な準備は欠かせませんが、人生何が起るかわかりません。大学入学共通テストでは、病気や負傷、その他やむを得ない理由で試験を受験できなかった場合は、追試験が受けられます。追試験は1/28(土)・29(日)に**兵庫大学(兵庫県加古川市平岡町新在家 2301)**で実施されます。申請方法等は、「受験上の注意」に記載されています。事前に確認しておきましょう。来年度の(1/11(火))から3学期の特別編成授業(午前中3コマ)が再開されます。共通テストまでは主に共通テスト直前演習、共通テスト後は個別(2次)試験対策演習が展開されます。午前中は授業でしっかり演習し、午後は各自で追い込み学習に勤しみましょう。今こそ「**受験は集団戦**」という意識を大切に、75回生全体で受験を乗り切りましょう!